



高島獣医科富山東病院長
(富山市水橋小出)

今野 浩明

9月に入っても涼しくなる気配はなく、夏は熱中症のニュースを見ない日がないほどでした。そのため最近ではペットの飼い主さんも早朝5時から散歩し、午後は日没後に散歩に行かれる方が多くなりました。

今年は、暑さが原因で食欲不振など体調を崩すペットが多かったように思われます。ただここで予防的に人間のスポーツドリンクや経口補液剤(犬用も含めて)を飲ませることは逆に塩分などが過剰になり体調を崩す原因にもなりま

外出時の水分補給 忘れずに

つて口からよだれを出して体温調節をするので、ナトリウムなどの塩分喪失は少なく主に水分喪失が大きいのです。経口補液剤は塩分や糖分が含まれているため犬にとつては嗜好性が高く、大量に飲むことで利尿が促され脱水を起こす可能性があります。

必要なのは外出時、清潔な水が飲めるように携帯ボトルや皿を持参し、いつでも適度な水分補給ができるようにしておくことです。



毒蛇にかまれた傷と思われる喉の腫れ

普段から水分摂取が少ないときは缶詰などの水分含有量が多いものを与えるのもいいでしょう。

また暗くなってからの田んぼのあぜ道や草むらの散歩で気が付かない間にマムシやヤマカガシなどの毒蛇にかまれ、夜中に中毒による重度の体調不良になったり、数日して顔やのど付近がパンパンに腫れて皮膚が大きく壊死したりすることもあります。SFTSなどダニから感染する病気も増えていることから、草むらなどには入らないようにしましょう。もし顔などにダニを発見したら、病原体に接触する可能性があるため、大変危険なので手でむしったりせずに動物病院を受診してください。

次は室内に目を向けてみましょう

う。エアコンは夏の間つけっぱなしにしていたと思いますが、2週間に1度はフィルターの掃除をしてください。ほこりが目詰まりを起こし、これによりエアコンの効きが悪くなるばかりか、カビが生えやすくなりせきや鼻水、くしゃみなどのアレルギー症状を起こします。

9月は稲刈りがあり、大気中に稲の粉が浮遊するため、特にイネ科の植物にアレルギーがある場合は注意が必要です。ヨモギ、オオバクサ、アキノキリンソウなどキク科植物も増える時期なので、アレルギーのような症状が出たときは早めに動物病院を受診してください。

毎月第1土曜掲載